

テーマ

「学びの深化のために為すべき全学的課題とは何か」

内容

本学では他大学に先駆けて様々な教育改革に取り組んできたが、3つのポリシーを実体化していくためには、これまでの取り組みから得られたエビデンスをもとに、さらなる学びの深化に向けた教育方法の改善を図っていく必要がある。今回は、様々なデータの連携から見てきた本学独自の課題を明示するとともに、学習の内化と外化を往還させるためのアクティブ・ラーニングや主体的な学びに向けたワークシートの作り方など、これまでに実施してきた学びをさらに深化させるための取り組みに着目する。

また、本年度 8 月 FD・SD で学生のさらなる多様性が明らかとなったが、その対処方法については、まだ共通理解が得られたとは言い難いのが現状である。そこで、今回は、来年度さらに多様化が進むと思われる学生への理解を通じ、全学的な対処について検討し、学生が真に成長を実感出来る支援体制を構築することを目的とする。

到達目標

今回は、到達目標を 3 点設定する。第 1 点は、学習における内化と外化を往還させるためのアクティブ・ラーニング手法を学び、次年度の教育改善に活かすことである。第 2 点は、多様化する学生への対処について、教職員の共通理解を図り、全学的な支援体制の構築に着手することである。

第 3 点は、ラーニングルートマップの導入についてふり返りを行い、次年度の指導と学修の統合化に向けた課題について、共通理解を得ることである。

プログラム

□場所：尼崎キャンパス

1 日目

2/16 (木)

		分	内容	資料No.
		50	次年度着任予定の教職員向けオリエンテーション（濱名学長、安部高等研センター長、田中初年次教育部門長、吉田教育開発部門長、尾崎高等研センター長代理）	資料 0-1
午前〈150分〉 (10:00-12:30)	開会	10	趣旨説明及び内容と目標（安部高等研センター長）	
	プログラム①	50	(仮) 3つのポリシーの実質化で見えてきた本学の現状と次年度に向けた課題（濱名学長・藤木評価センター長）	資料 1-1 1-2

	プログラム②	90	「学習の内化と外化に向けたアクティブラーニング」(関西大学 森 朋子 先生)	資料 2
午後 (220分) (13:30-17:10)	プログラム③	90	「アクティブラーニングで学生の学習を深める」(愛媛大学 中井 俊樹 先生) (ワークを含む、事前に席指定:全学科混在)	資料 3-1 3-2 3-3
	休憩	15		
	プログラム④	40	PBL 実施のふり返りと次年度に向けた課題 (安部高等研センター長、各学科長)	資料 4-1 4-2
	プログラム⑤	60	わかりやすいワークシートの作成法と効果的に用いた学びの外化 (上村学部長)	資料 5
		10	連携校の先生および参加学生のコメント	
	まとめ	5	まとめとアンケート記入	

2日目

2/17 (金)

		分	内容	
午前 (130分) (9:30-11:30)	開会	10	2日目の内容と目標	
	プログラム⑥	110	学習の外化と内化の往還に向けたグループワーク (尾崎高等研センター長代理、安部高等研センター長) (事前に席指定:全学科混在)	資料 6

午後〈220分〉 (12:30-17:00)	プログラム⑦	60	学生面談の見直しについて(田中初年次教育部門長)	資料 7
	休憩	10		
	プログラム⑧	70	配慮の必要な学生への具体的対応(中尾学科長)	資料 8
	休憩	15	(移動:学科ごとにグループ作成)	
	プログラム⑨	70	ラーニングルートマップのふり返りと次年度に向けた課題(山下副学長)	資料 9
		15	連携校の先生及び参加学生のコメント	
		20	総括(濱名学長)	
	まとめ	10	まとめとアンケート記入	

※内容・時間につきましては変更になる場合があります。